

第37回 ナーシング・キャリアカフェ in 沖縄 報告書

I. 日 時： 2016年12月17日（土曜日） 10:00～12:00

II. 場 所： 沖縄サテライト

III. テーマ： 「入職1年目の看護職になんでもきいちゃおう！

様々な職種で働く看護職者との交流」

IV. 講 師： 看護師 佐久川千咲さん（琉球大学附属病院）

助産師 桑原南海さん（沖縄県立中部病院）

保健師 徳元綾美さん（沖縄県南部保健所）

V. 参加者： 2年次 5名（琉大3名 県立看護大3名）

3年次 4名（名桜1名 県立看護大3名）

教職員 5名（琉大1名 県立看護大4名）

VI. 担当校： 沖縄県立看護大学

VII. プログラム：

時間	内容
10:00～	開会
10:10～10:40	講師紹介 事前質疑応答
10:50～11:50	カフェタイム (1ブース15分/回×4)
11:50～	アンケート記入及び提出
12:00	写真撮影

VIII. 事前準備

ナーシング・キャリアカフェの企画・運営に携わる学生より、5月に実施したアンケートからテーマを選出してもらった。本学担当3度目の今回は、第一弾は5年以上キャリアを有する先輩の体験、その第二弾として、卒後半年を超えた看護師・保健師・助産師からリアリティーを聞く場にしようと、卒業生を選定した。NCC担当教員と学生でポスター制作・広報・当日運営を行った。

IX. 目的と方法

講師の体験談をもとに、各職種の具体的なイメージができ、一年目の実際を描くことを目的とした。

はじめに、進行係の学生より講師紹介があった。講師は自己紹介とともに現在の仕事内容に触れ、事前質問に答えた。その後、3つのテーブルに分かれ、15分ごとに合図をして、参加者が入れ替わり、アドバイスや体験談を聞く時間とした。3テーブルを回った後、もう1度聞きたい講師のテーブルにつく時間を15分設けた。最後に、アンケートの記入後、参加者全員で写真撮影を行った。キャリアカフェ終了後には、学生メンバー同士で振り返りの場を設けた。



X. 内容

助産師の桑原さんは、本学卒業後、県立病院に勤務している。個別の質問では、「県立は異動するのでは?」や「人間関係はどうか?」、「常に満床なのか?」、「同期は何人くらいいるのか?」などであった。桑原さんは、ありのままに答えていた。学生の中には3交代に大変なイメージを持っている様子であったが、桑原さんからは「完全休みは月1とか2かもしれない。でも3交代で1回勤務は8時間。2交代だったら1回勤務が長い。それに夏休みが2週間取れる」と答えると、学生はビックリした表情であった。また、同期が多いことが魅力であり、他の病院ではみられない疾患が看られることが魅力だと話し、疲れた表情は一切無く、やる気に満ちあふれていた。



看護師の佐久川さんは、本学卒業後、附属病院の脳外科に勤務している。個別質問では「希望科は通るのか?」や、「人気の科は?」、「どうやって病院を選んだの?」、「いつから夜勤に入るの?」などであった。佐久川さんは「病院は色々見学に行った。色々行ったら決められなくなったが、4年次の6月にインターンに行った病院のことを思い出したらとても良い病院に思えた。」など、ユーモアを持って和やかに答えていた。さらに、1年目の4月の様子や夜勤の様子、先輩との関わり方など、学生は目を輝かせて聞いていた。



保健師の徳元さんは、本学卒業後、県内保健所に勤務している。学生からの「入る前と今のギャップはありますか?」の質問に、「保健師はデスクワークのイメージであったが、部署によるが、オンコールもあること」と現場の様子を答えると驚きの声が上がった。また、学生からは「指導など1人で考えるの?」や、「授業でやったことは使えますか?」、「卒業生が正規採用されたのは何人?」などの質問が出ていた。徳本さんの「看護師だったらプリセプターがつくように、保健師も先輩がついてくださるので、相談してます!」という回答など、保健師志望の学生たちの細かな質問にも、丁寧に答えていた。



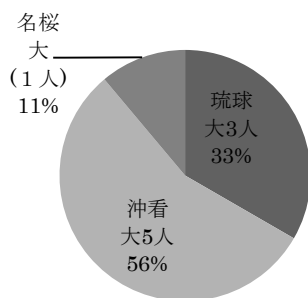
XI. まとめ

今回の講師は、普段直接話を聞く機会のない、1年目の助産師・看護師・保健師で、参加した学生から、「実際に生の声が聞けて良かった」との声が聞かれた。現場を具体的にイメージできたことで、将来像への動機付け、目的意識の向上につながったと考えられる。また、「3つの小ブースで質問しやすい環境で良かった」との声も多かった。学生が抱いていた疑問を、当事者へ直接尋ねることで、多様な進路を実感する場となり、卒業までにすべきことを明確化できたと考えられる。

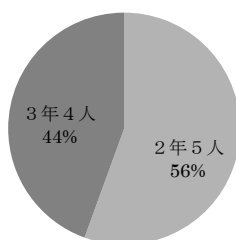


XII. アンケート結果

問1) 参加者の属性

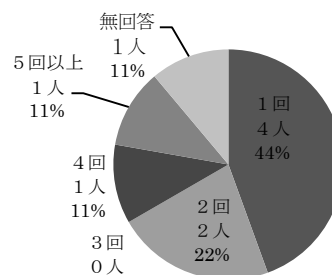


【所属大学】

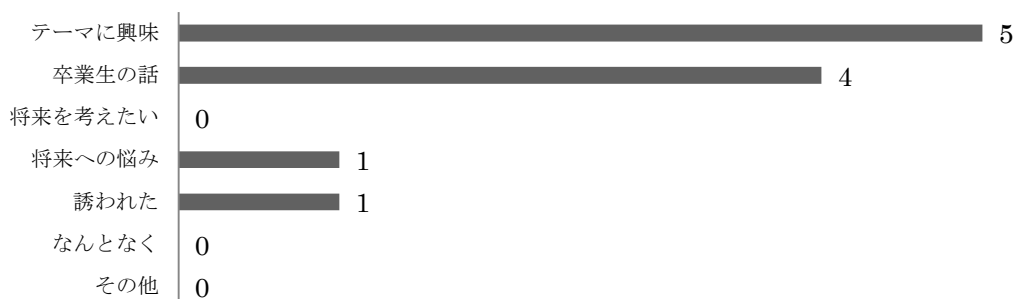


【学年】

問2) 参加は何回目ですか。



問3) 参加の動機を教えてください。(複数回答)

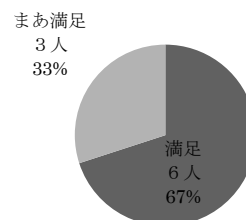
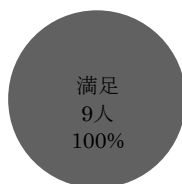


問4) 今回のナーシング・キャリアカフェの満足度を教えてください。

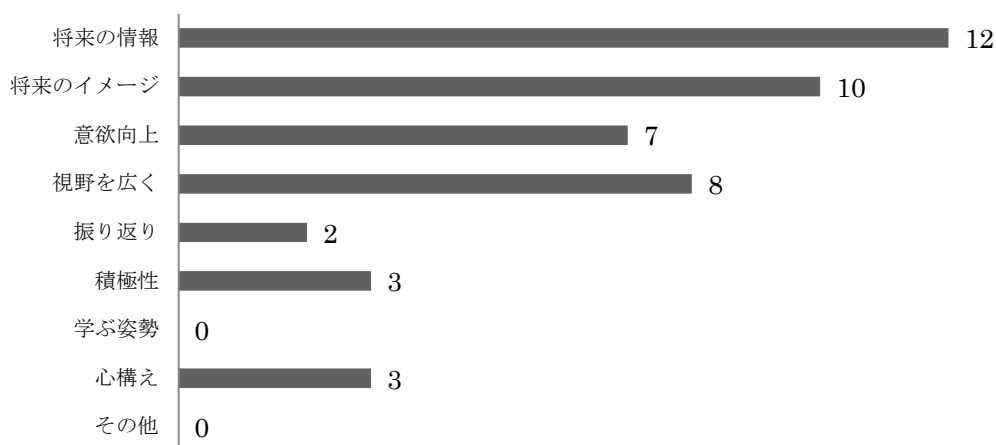
【内容】

【開催日時】

【時間配分】



問5) 今回の講師の話聞いて、感じたこと・学んだこと (複数回答)



問6) あなたが理想とする看護職者のイメージについて具体的に書いてください。

- ・ 2交代
- ・ 知識があり、援助もできるように努力している人
- ・ 患者に寄り添い、行務に流されない人
- ・ 地域の人と沢山関わって支援出来る看護職
- ・ 地域のニーズに合わせ、信頼される看護職者
- ・ 患者や対象者に寄り添い、個別的なケアを提供できる看護職者。
- ・ 看護者視点だけでなく、常に患者視点からも考え、対象者の力を引き出せるような介入の仕方が出来る人
- ・ 向上心を持って自分で考えて行動する
- ・ 患者の家族のように親身に関わり、考えられる看護師
- ・ ちゃんと根拠がある知識・技術を身につけているのはもちろんのこと、患者さんがこの人なら私のこと話しても良い、この人に話したら安心できると思ってもらえるような信頼関係が築ける看護師

問7) 今回のナーシング・キャリアカフェの感想を自由に書いてください。

・今回、看護師と保健師で迷っている中での参加だったのですが、お話を聞いて、助産師もとても魅力的でいいなと思いました。視野を広げることが出来ました。また、勉強法やどのように職を選んだかを聞くことができ、これからにつなげたいと思った。

・保健師さんの詳しい話が聞けて勉強になったし、今のうちから勉強を頑張ろうと思えた。

・各々違う職場での貴重な話が聞けて参考になりました。参加して良かったと感じます。

・特にカフェタイムでは疑問の解消や今後のアドバイスを頂き、意欲の向上や具体的な将来のイメージをもつことができた。こういう学生と専門職者が関わる機会は大切だと思う。

・今回は2回目の参加だが、同じ保健師でも地域によっての特徴が有ったりと新たな学びがありました。

・1年目の人の話だったので、就職後の戸惑いややりがいを知ることができ、具体的なイメージがしやすかったです。

・研修やスキルアップのこともきけて、これから就職していく上でためになった。